

moe・ryoku/緑のふるさと協力隊・遠山陽子さんの鮫川村体験記



1. 鮮やかに色づいたもみじ
2. 鮫川小5年生の収穫祭。5月から田植えや稲刈り、脱穀と一緒に体験し、収穫したお米で餅つきをしました。



3. 米粉で作ったシフォンケーキ。みそ入りときな粉入りの2種類を作りました。
4. 遠端で見つけたナデシコ

紅葉の鮮やかさに感激!!

寒いですが。冬本番を前に、早くもこたつとストーブが活躍し始めています。まだ湯たんぽと厚手の毛布は出さずに頑張っていますが、近々引っぱりだそうと思います。寒さはつらくなってきましたが、紅葉がきれいで感激しつばなしです。紅葉の盛りにはカメラが手放せず、どこを撮っても絵になります。写真にするときれいさが半分以下になってしまふこと。なので、しっかりと心のカメラに記憶しておこうと思います。

脱穀を見るのも作業するのも初めて。田植えと稲刈りは鮫川にくる以前にやったことがありますが、脱穀だけは無いのです。作業のお手伝いをして思ったのは意外と大変。でも、稲を機械に通すだけのお米と稲わらに分かれるのは見ていて不思議でした。春から手間をかけて作るお米。そんなお米が今回のアイディア料理コンテストのテーマだったのですが、実は私も参加しました。ちなみに、作ったのは実家にいたころからよく作っていたシフォンケーキ。本来なら小麦粉を使うのですが、今回は米粉に置き換えてさ

らにひと工夫したものを二品ほど出品。何度も試作を繰り返して、時には味見をしてもらいながら作ったケーキは、結果うんぬんよりもおいしいと言ってくれてもらえたことが何よりもうれしかったです。今度は何を作ろうかな。鮫川に来てから車移動が基本だったので、家から落合地区までの約四キロを歩いてみることにしました。普段はあつという間に通り過ぎてしまう所も、歩いてみるといろいろな発見があります。道端にナデシコが咲いていたり、スキの穂がふわふわになっていたり、秋晴れのほかほか陽気、太陽の光を受けて紅葉はキラキラ光っていました。何より、いつも以上に時間がゆっくりと流れているように感じました。

ついに今年も一カ月で終わりということに驚きつつも、小春日和の陽気にのんびり日向ぼっこして過したくなってしまいます。



初の全国大会出場という緊張の中で、普段通りの跳躍で自己ベストを更新。今後の目標は、中体連全国1位さらなる高見を目指す

須藤悠太さん 鮫川中2年
YUTA SUTO

全国大会で堂々とした跳躍をする悠太さん (写真提供: 鮫川中学校)

初の大舞台で躍動 全国3位に輝く

ジュニアオリンピック陸上競技大会 《走り幅跳び》

鮫川中学校二年の須藤悠太さんは、十月二十六日、二十七日に日産スタジアム(横浜市)で行われた「第四十四回ジュニアオリンピック陸上競技大会」に走り幅跳びで福島県代表として出場。大会では、自己ベストを十八センチ上回る六十三センチを記録し、見事全国三位入賞を果たしました。

「初めての全国大会出場というところで、会場の大きさやプレッシャーに押しつぶされそうでした」と、大舞台での緊張を話した悠太さん。「でも、跳躍をするときには何も考えず、普段通りの自分の競技ができました。自己ベストを跳ぶことができて、とてもうれしいです」と笑顔を見せました。



右/3位入賞の表彰状とメダルを手にする悠太さん。部員全員で日々の練習は、部員全員で基礎練習をしたあと個人練習をします。



年を見据えて、目標を立てて日々の練習に取り組んでいます。今後は、各種練習会などにも参加して筋力強化や技術力向上を図り、さらなる高見を目指します。